

# 日本のアニメ制作会社の分布

※アニメ制作会社とは、企画・制作・脚本・演出・原画・動画・CG(2D・3D)・背景・美術・特殊効果・撮影・編集の機能を持つ事業者を指す。

## アニメ制作スタジオ分布図から読み取れる東京都内の現状

アニメ制作(企画・制作・脚本・演出・原画・動画・CG(2D・3D)・背景・美術・特殊効果・撮影・編集などの制作工程)に携わる企業は、東京に全体の87.1%を占める542社が分布しており、その中でも杉並区(138社)・練馬区(103社)を中心に集積していることがわかる。これはアニメ産業の歴史に沿った展開の結果であり、大泉に東映動画(現・東映アニメーション)が、富士見台に虫プロダクションが立地していたことで、沿線となる西武池袋線、ならびに近隣の練馬区を中心としてアニメ制作会社が分布していた経緯だと考えられる。一方で、杉並区に関しては西武新宿線の下井草〜上井草、中央線の高円寺〜拝堂にアニメ制作会社が集積している。西武新宿線に関しては西武池袋線に立地していたスタジオとの距離が近く、上記の分布が広がった結果であるが、中央線に関しては70年代南阿佐ヶ谷にあった東京ムービー新社(現・トムス・エンタテインメント)の関連で増えていったものと思われる。2011年と2016年の東京都内のアニメ制作会社立地数を比較すると、杉並区(70社→138社)、中野区(14社→30社)の増加傾向が顕著だが、これは2012年にトムス・エンタテインメントが、2013年に東映アニメーションが、それぞれ中野区に本社を移転したことで、中野区ならびに沿線である中央線の有用性が上がったことが要因と考えられる。

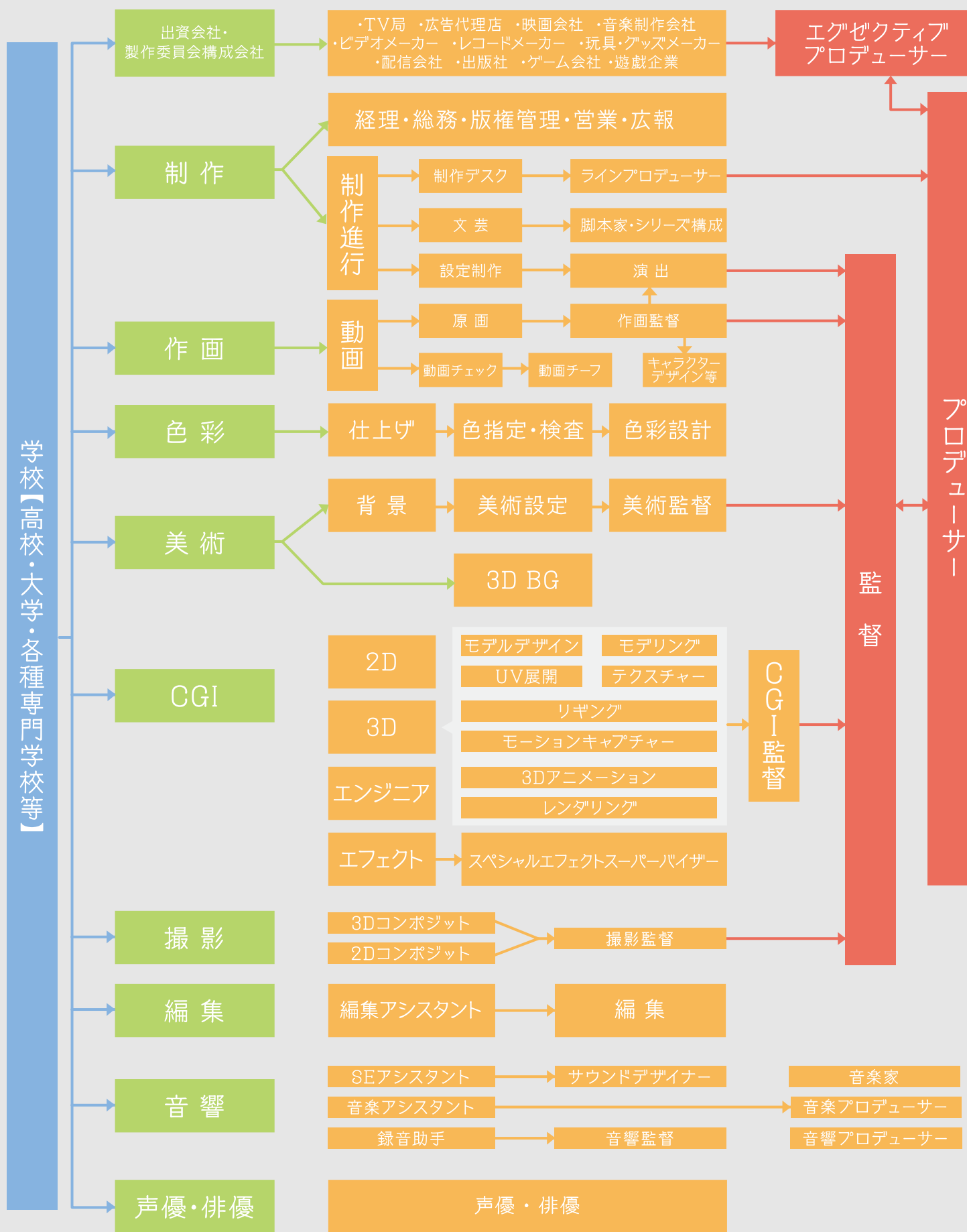
## 全国各地におけるアニメ制作の現状

東京への一極集中が進む一方で、京都アニメーション(京都府宇治市)、P.A.WORKS(富山県砺波市)といった全国各地に本拠地を置くアニメ制作企業の健闘を耳にする。その理由としてはビジネスにおける利便性に欠ける側面はあるものの作品に集中できる環境が得られるということが上げられるだろう。こうした利点があるなかで、東京に本社を立地するアニメ制作会社が地方にスタジオを設立する例も増加している。2010年に開設された旭プロダクション宮城白石スタジオはデジタル制作に特化したスタジオとして、東京のスタジオとオンラインで連携したアニメ制作を進めている。2016年に開かれたばかりのトリガー福岡スタジオでもデジタル作画を視野に入れた採用を行っており、今後は地方でのデジタル制作に主眼をおいたスタジオが増加すると考えられる。また、2016年に開設されたWHITE FOX伊豆スタジオのように寮完備のうえで新人アニメーターが指導を受けながら共同生活を営む、地方の利点を生かした研修施設としての面を持ったスタジオも存在する。今後、地方に分散しはじめたアニメスタジオがアニメ産業の集積構造にどのような変化をもたらすかが注目したい。

合計 622

出典:一般社団法人日本動画協会 調査

# ANIMATION CAREER MAP



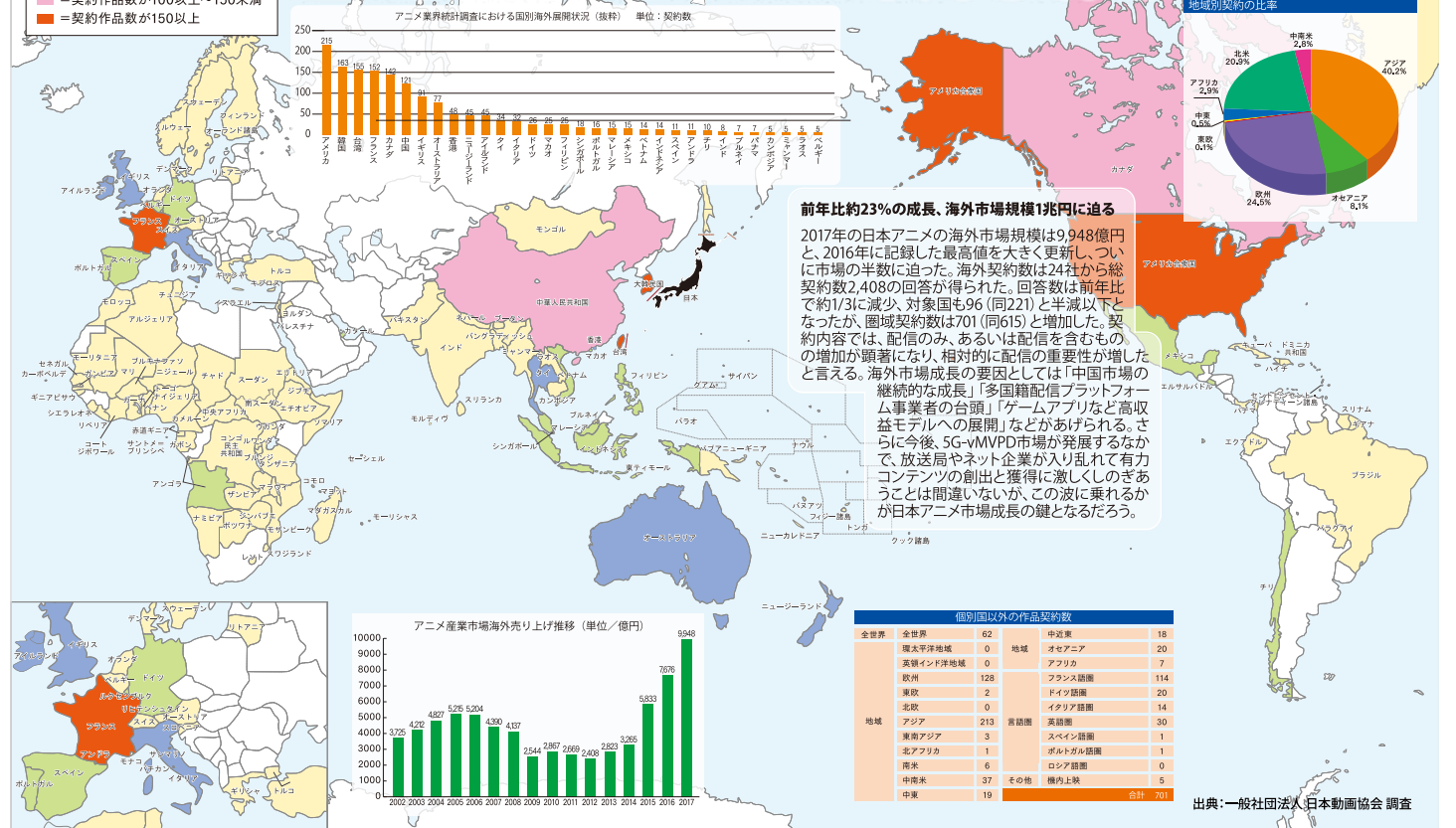
# TOKYO ANIMATION GUIDE

東京アニメーションガイド

本ガイドでは、アニメーションの制作工程や歴史を分かりやすく紹介しています。また、東京都内のアニメ関連観光施設やアニメ産業の現状など、幅広くアニメーションの情報を網羅した一冊になっています。



# 日本のアニメの海外展開



# ・・・アニメーション制作の流れ・・・

## プリプロダクション

### 企画

作品をつくるために最初に出す提案です。大まかな企画を決定した後、作品の舞台設定やキャラクター設定など、細かな内容を決定していきます。

### 脚本(シナリオ)

シナリオライターが、企画や設定、シリーズ構成にしたがって、作品のストーリーを作り上げます。

### 絵コンテ・レイアウト

絵コンテは、映像化するための設計図です。監督や演出担当等が作成します。その後、さらに詳しい設計図を作り上げるために、具体的な画面構成や映像制作の分担を決めるのが、レイアウトです。

## プロダクション

### 原画・動画

原画は、絵コンテに沿った演技・芝居を描いていく工程です。動画は、原画の間に数枚の絵を入れることで、動きを補完していく工程です。基本的に作業は手書きで行われますが、一部の作品ではペンタブによるデジタル作画も導入されています。

### 色彩設定・彩色(ペイント)

スキャンした線画に対して色をつけていく工程です。色彩設定に従って色を指定するのが色指定で、色指定に従って実際に彩色していく作業が彩色(ペイント)です。この工程は現在、ほとんどの現場でデジタル化されています。

### 撮影・エフェクト

完成した絵を重ね合わせ、背景画や3DCGで作られた絵と合成していくのが撮影です。セルアニメーションでは、カメラを利用してフィルムに撮影し、それを現像していました。対して、デジタルアニメーションでは、カメラを使用せずに、コンピューター上で全ての作業を行います。

アニメーションとは、コマ撮りによって1枚1枚の絵を作り上げ撮影していく映像制作手法を用いた作品のことです。かつて主流であったのが、セルアニメーションです。セルロイドのシートに、人の手で1枚1枚キャラクターなどの線画を描き、色を付けたものがセル画であり、セル画をコマ撮り撮影することでアニメーションを制作していました。2000年代以降、3次元コンピューターグラフィックス(3DCG)を応用した画面作りが普及しており、すべての工程をコンピューターで行うデジタルアニメーションも増えてきています。

## ポストプロダクション

### 編集(カッティング)

カットの長さや順序を微調整しながら、映像をつないでいく作業のことです。

### ダビング(ミックス)

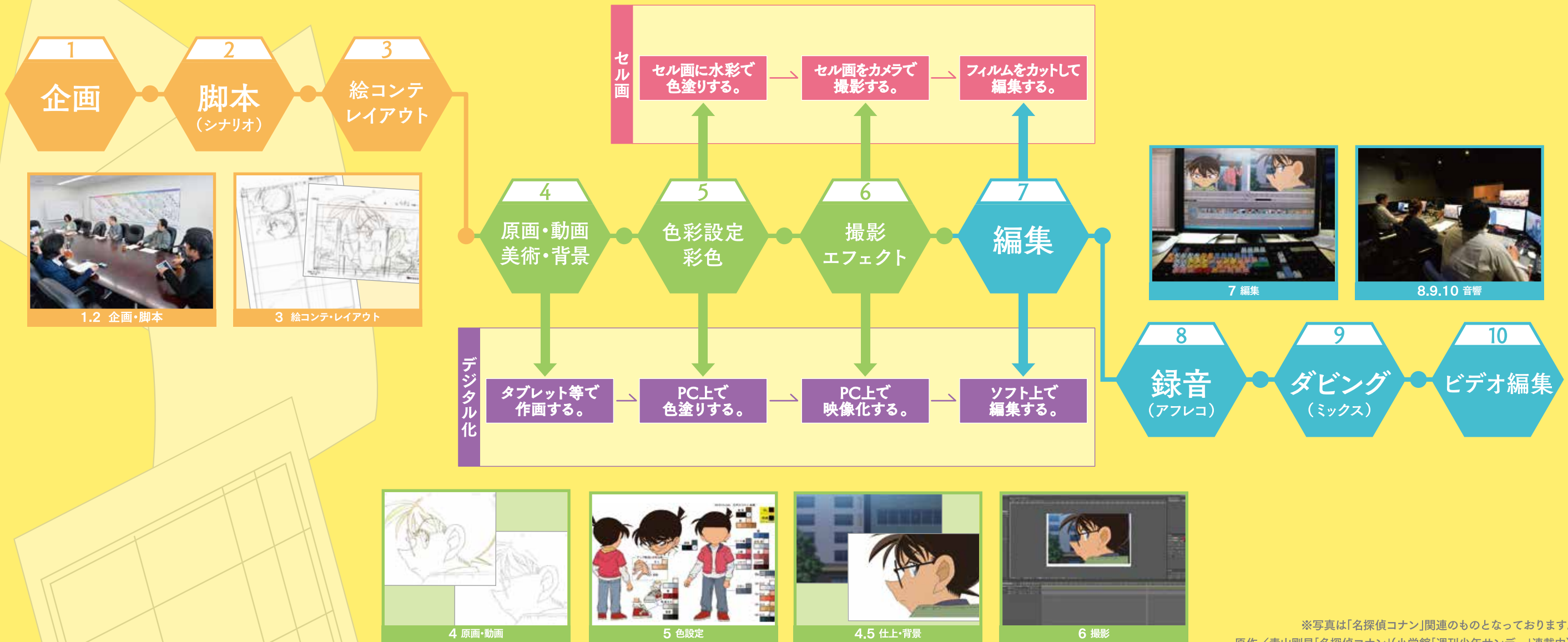
キャラクターの声、音楽、効果音のバランスを調整し、音響を作り上げていく作業がダビングです。

### 録音(アフレコ)

アニメの音は、キャラクターの声、背景の音楽、足音や銃声などの効果音の3つからなります。スタジオで映像を見ながら、声優が演じるアフターレコーディング(アフレコ)によって声をつけていく作業を録音といいます。

### ビデオ編集

音素材と映像素材を調整しながら、ビデオ編集機で合成し、テレビ局等に納品する形式に仕上げます。タイトルやテロップなども、この段階で入れます。



# アニメーションの歴史

世界のアニメーションの歴史は、1892年フランスのエミール・レイノーの「哀れなピエロ」がはじまりであるといわれています。これは、1895年に世界初の実写映画とされる「工場の出口」の上映よりも3年も早く、アニメーションの歴史は実写映画の歴史よりも長いことが分かります。日本におけるアニメーション映画の第一号は、1917年(大正6年)に下川凹天の制作した「芋川棕三玄関番の巻」です。同年、北山清太郎の「猿蟹合戦」、幸内純一の「なまくら刀(塙凹内名刀之巻)」も上映されました。

日本のアニメーションのさきがけは、連続式絵巻に見ることができます。現在、国宝絵巻となっている「鳥獣人物戯画」、「信貴山縁起 絵巻」、「伴大納言絵詞」などが例として挙げられます。日本では、数百年に渡る長い歴史の中で、数多くの絵師達が物語を“描き”“動かす”創作術に魅入られ、あらゆる試行を重ねています。

1958年に、日本最初のカラー長編アニメーションとして「白蛇伝」が上映されました。中国の四大民間話のひとつ「白蛇伝」を題材にした内容です。

その後、1963年にはTVアニメシリーズとして、手塚治虫原作の「鉄腕アトム」の放送が開始されました。日本における商業アニメーションは、この「鉄腕アトム」をきっかけとして発展していったとも考えられています。

日本の商業アニメーションは、劇場作品やTVアニメーションにより発展していき、1970年代には国内外の童話や、コミック原作、アニメ制作会社が原作となる子供向けアニメが多く制作されました。それらの中より「宇宙戦艦ヤマト」や、「機動戦士ガンダム」などが若者にヒットした作品も登場し、アニメーションは近年でも人気の「それいけ!アンパンマン」や、「世界名作劇場シリーズ」、「クレヨンしんちゃん」など子供向けのもののみならず、大人でも楽しめるような内容に変化していきました。1980年代前半からは「ダロス」などのTV、劇場などで放送・上映していないオリジナルアニメーションビデオ(OVA)なども登場しました。

1990年代以降、アニメーション制作は、セルアニメーションからデジタルアニメーションへと移行しました。1995年に制作された長編映画「攻殻機動隊」は、セル画で製作

された数少ない長編映画で、TV放送においては、1969年に放送が開始された「サザエさん」が最も長く続いたセルアニメとされています。2013年までセル画で制作されていましたが、同年10月にデジタル制作に完全に移行しました。

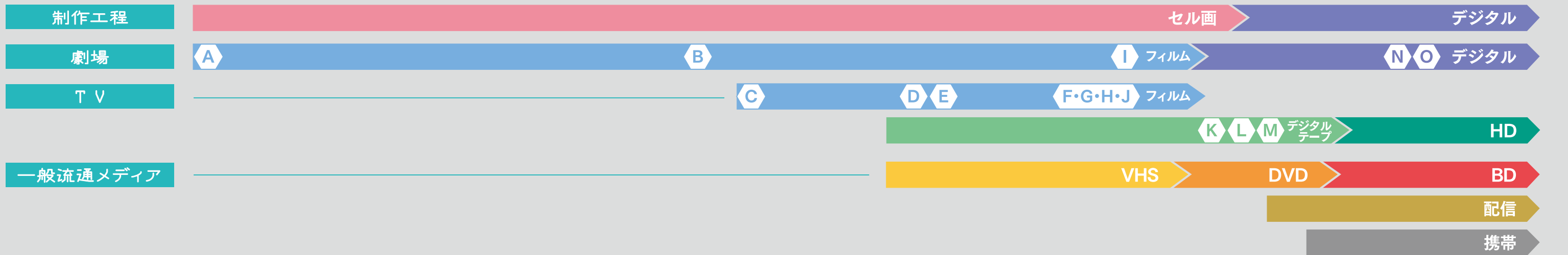
2000年代に入り、コンピューターグラフィックスによるCGアニメーションなども登場し、デジタル化が急速に進みました。近年では、フルデジタル作品として2014年に「山賊の娘ローニャ」、「シドニアの騎士」などが制作されています。

2010年代には、劇場作品や配信作品が多く排出され、「君の名は。」や、「名探偵コナン」は年間興行成績等で邦画1位になるなど、アニメーション作品の楽しみ方も多岐にわたるものとなりました。

1917年からの約100年で、日本の商業アニメーションで制作されてきた作品(TV、OVA、劇場版など含め)は、シリーズ作品含む 作品数 12,902作品 サブタイトル数 171,390話 となります。(2018年12月末調べ)

- A:「なまくら刀(塙凹内名刀之巻)」 国立映画アーカイブ所蔵作品
- B:「白蛇伝」 ©東映
- C:「鉄腕アトム」 ©手塚プロダクション
- D:「フランダースの犬(世界名作劇場)」 ©NIPPON ANIMATION CO., LTD.
- E:「機動戦士ガンダム」 ©創通・サンライズ
- F:「ドラゴンボール」 ©バードスタジオ/集英社・東映アニメーション
- G:「それいけ!アンパンマン」 ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV
- H:「クレヨンしんちゃん」 ©臼井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK
- I:「攻殻機動隊 GHOST IN THE SHELL」 ©1995 Shirow Masamune/KODANSHA・BANDAI VISUAL・MANGA ENTERTAINMENT
- J:「新世紀エヴァンゲリオン」 ©カラー/Project Eva.
- K:「名探偵コナン」 ©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996
- L:「NARUTO -ナルト- シリーズ」「NARUTO -ナルト- 疾風伝」 ©岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ
- M:「ふたりはプリキュア」 ©ABC-A・東映アニメーション
- N:「ソードアートオンライン」 ©アスキー・メディアワークス/SAO Project
- O:「君の名は。」 ©2016「君の名は。」製作委員会

1917 ..... 1927 ..... 1937 ..... 1947 ..... 1957 ..... 1967 ..... 1977 ..... 1987 ..... 1997 ..... 2007 ..... 2017 ... 2019



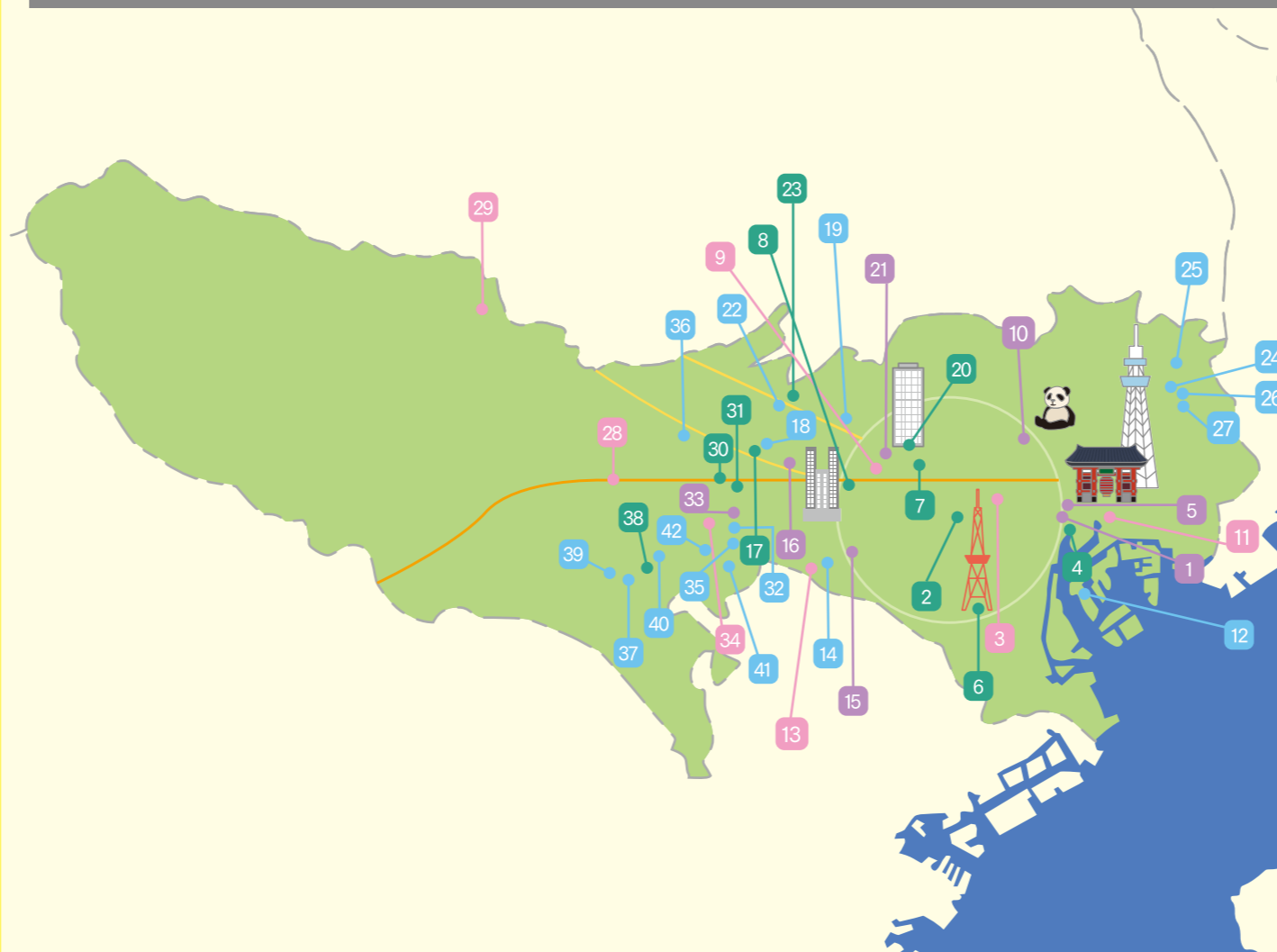
# アニメ関連観光スポット

- アニメ・キャラクター関連施設
- マンガ関連施設
- 銅像・モニュメント
- アニメ・キャラクター関連店舗

※MAP上・各施設の番号は上記分類と連動しております。

 <p><b>明治大学 米沢嘉博記念図書館</b> 東京都千代田区神田猿樂町1-7-1 まんがとサブカルチャーの専門図書館です。展示室では原画展や企画展示を行っています。閲覧室ではマンガ雑誌や単行本などを閲覧することができます。</p>	 <p><b>国立映画アーカイブ</b> 東京都中央区京橋3-7-6 日本で唯一の国立映画専門機関として、映画の保存・研究・公開を通じて映画文化の振興をはかる拠点となっています。</p>	 <p><b>ポケモンセンタートウキョー-DX &amp; ポケモンカフェ</b> 東京都中央区日本橋2-11-2 日本橋高島屋S.C.東館5F ポケモンのオフィシャルショップ。ポケモンをモチーフにしたフードやドリンクが楽しめるカフェが常設しています。都内に池袋と、押上にもポケモンセンターがあります。</p>	 <p><b>東京ワンピースタワー</b> 東京都港区芝公園4-2-8東京タワーフットタウン内 アニメ「ワンピース」の常設屋内型テーマパークです。各種アトラクション、迫力のライブショー、レストラン、ショップなどワンピースの世界を楽しめます。</p>
 <p><b>東京アニメセンター in DNPプラザ</b> 東京都新宿区市谷田町1-14-1 DNP市谷田町ビルDNPプラザB1F 日本のアニメ文化を発信する拠点として、アニメの原画を活用した展示・物販・ワークショップや各種関連イベントの開催などを行っています。</p>	 <p><b>EJアニメシアター新宿</b> 東京都新宿区新宿3丁目13-3 新宿文化ビル 4・5F EJアニメシアターとは、アニメ専門劇場にして、アニメの原画を活用した展示・グッズ販売・イベントを行うことの出来るコラボカフェを併設した国内唯一の複合施設です。</p>	 <p><b>明治大学 現代マンガ図書館&lt;内記コレクション&gt;</b> 東京都新宿区早稲田鶴巻町565 2F 国内最大級の蔵書数を誇る、マンガ専門の図書館です。1928年から最新のマンガまで、18万点を誇る資料を収蔵しています。</p>	 <p><b>ヤマシロヤ</b> 東京都台東区上野6-14-6 上野駅にある、人気キャラクター商品やお土産などを取り扱うおもちゃの専門店です。</p>
 <p><b>田河水泡・のらくろ館</b> 東京都江東区森下3-12-17 江東区森下文化センター 『のらくろ』の作者・田河水泡の作品や愛用の品々を展示し、田河水泡の生涯、深川との関わりなどを紹介しています。</p>	 <p><b>実物大ユニコーンガンダム立像</b> 東京都江東区青海1-1-10ダイバーシティ東京プラザ内 2Fフェスティバル広場 『機動戦士ガンダムUC』に登場する「ユニコーンガンダム」の実物大立像で、星の姿を演出した他、夜には壁面映像を使った演出も楽しめます。</p>	 <p><b>長谷川町子美術館</b> 東京都世田谷区桜新町1-30-6 『サザエさん』の作者・長谷川町子と姉の穂子が蒐集した美術品約700点を収蔵。『町子コーナー』では、長谷川町子の漫画原画なども展示しています。</p>	 <p><b>サザエさん銅像</b> 東京都世田谷区桜新町2-9 桜新町駅周辺及びサザエさん通りの交番の計4ヶ所に、『サザエさん』の一家7人・計12体が設置されています。</p>
 <p><b>キディランド 原宿店</b> 東京都渋谷区神宮前6-1-9 ファンシー雑貨、キャラクターグッズ、トイ・バラエティなどの商品を幅広く展開し、楽しく遊ぶの世界観を表現する遊び心満載のショップです。</p>	 <p><b>中野ブロードウェイ</b> 東京都中野区中野5-52-15 アニメや玩具等の専門店が多く入った複合商業施設で、サブカルチャーの聖地とも呼ばれています。フィギュア、レアマンガ、絶版本などが揃っています。</p>	 <p><b>東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム</b> 東京都杉並区上荻3-29-5 杉並会館3F 『日本のアニメの歴史』から『これからの日本のアニメ』までアニメ全般を総合的に紹介する施設です。</p>	 <p><b>機動戦士ガンダム モニュメント</b> 東京都杉並区上井草3-32-1 『大地から』と名付けられた、初代・機動戦士ガンダムのプロズ像です。高さおよそ3mあるこのモニュメントは、上井草駅のシンボルとなっています。</p>

# TOKYO ANIMATION GUIDE MAP



 <p><b>南長崎・トキワ荘ゆかりの地のモニュメント等</b> 東京都豊島区南長崎周辺 日本を代表するマンガ家が青春時代を過ごした「トキワ荘」。かつてトキワ荘があった南長崎地域に、マンガ家たちの記念碑や、作品のキャラクターモニュメントが設置されています。</p>	 <p><b>ナンジャタウン</b> 東京都豊島区東池袋3-1-3 サンシャインシティワールドインポートマートビル2F 『ナジャの爆約リスピリッツ』などのアトラクションや、ご当地餃子の食べ比べができる『ナンジャ餃子スタジアム』が楽しめます。アニメやゲーム等のイベントも随時開催中です。</p>	 <p><b>アニメイト池袋本店</b> 東京都豊島区東池袋1-20-7 日本最大級のアニメ・コミック・ゲームの専門店「アニメイト」アニメに関するものなら何でも揃います。オリジナルの特典がつくフェアなども開催しています！</p>
 <p><b>大泉アニメゲート</b> 東京都練馬区東大泉1-28 大泉学園駅北口直結のベネストリアンデッキ(歩行者道路)に、練馬区ゆかりの作品に登場する4作品5キャラクターの等身大モニュメントが設置されています。</p>	 <p><b>東映アニメーションミュージアム</b> 東京都練馬区東大泉2-10-5 多くのアニメーション作品を製作してきた東映アニメーション株式会社の作品の設定資料、原画、セル画などの貴重な資料が展示されているミュージアムです。</p>	 <p><b>『キャプテン翼』銅像</b> 東京都葛飾区四つ木、立石 漫画『キャプテン翼』の主人公・大空翼をはじめとした同作品のキャラクター像9体が、四つ木地域と立石地域にあります。</p>

 <p><b>『こちら葛飾区亀有公園前派出所』銅像</b> 東京都葛飾区亀有 漫画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の主人公・両津勘吉をはじめとした同作品のキャラクター像15体が、JR亀有駅を中心とした亀有地域にあります。</p>	 <p><b>モンテッチ公園</b> 東京都葛飾区西新小岩5-2-4, 5-7-7 公園の正式名称は西新小岩五丁目公園。園内のインターロッキングフロックやトイレの壁などいたるところにモンテッチがいるのが特徴です。</p>	 <p><b>モンテッチデザインマンホール</b> 東京都葛飾区新小岩1-45-1 JR新小岩駅周辺 JR新小岩駅周辺の10ヶ所に、カラーのモンテッチが描かれたマンホール蓋が設置されています。マンホール周辺ではモンテッチと一緒に写真撮影ができます。</p>	 <p><b>立川まんがばーく</b> 東京都立川市錦町3-2-26 立川市子ども未来センター2階 立川市子ども未来センター内にあり、まんがをゆったりと眺める施設です。子どもだけでなく、大人がかつて夢中になったまんがも揃えています。</p>
 <p><b>青梅赤塚不二夫会館</b> 東京都青梅市住江町66番地 昭和を代表するギャグマンガ家・赤塚不二夫の絵や写真を展示しています。</p>	 <p><b>アートサロン和精</b> 東京都武蔵野市中町2-26-4 映画とアニメーション作品のコレクションを展示するアートギャラリー&amp;カフェです。ワークショップも随時開催しています。</p>	 <p><b>三鷹の森ジブリ美術館</b> 東京都三鷹市下連雀1-1-83 『迷子になるよ、いっしょに。』がキャッチコピーのスタジオジブリ作品の世界を体感できる美術館です。入場は日時指定の予約制なので事前に確認を。</p>	 <p><b>『ゲゲゲの鬼太郎』のキャラクターモニュメント</b> 東京都調布市内 天神通り商店街 調布駅近くの天神通り商店街に、『ゲゲゲの鬼太郎』に登場するキャラクターのモニュメントが設置されています。</p>
 <p><b>鬼太郎茶屋</b> 東京都調布市深大寺元町5-12-8 深大寺の山門にある『ゲゲゲの鬼太郎』をテーマとしたお茶屋さんです。鬼太郎グッズや美味しい妖怪甘味、妖怪ギャラリがあります。</p>	 <p><b>鬼太郎ひろば</b> 調布市下石原1丁目58番地5 『ゲゲゲの鬼太郎』など、漫画家・水木しげるの作品に登場する妖怪やキャラクターのおブジュ・玩具を設置した公園です。</p>	 <p><b>鬼太郎マンホール</b> 電通大通りなど 『ゲゲゲの鬼太郎』のキャラクターをデザインしたマンホール蓋が、調布駅北口から甲州街道までの歩道に設置されています。</p>	 <p><b>東京ドロロンパ・ぶるペーモニュメント</b> 東京都小平市美園町1-3-4 小平駅南口に、小平市のシンボルキャラクター「ぶるペー」とFC東京のチームスコット「東京ドロロン」がコラボレーションしたモニュメントがあります。</p>
 <p><b>ハローキティとしまじろうのモニュメント</b> 多摩センター しまじろう広場 多摩センターしまじろう広場にある、『ハローキティ』と『しまじろう』がコラボレーションしたモニュメントです。</p>	 <p><b>サンリオピューロランド</b> 東京都多摩市落合1-3-1 『ハローキティ』と、サンリオキャラクターの世界観を楽しめるテーマパークです。館内では、『ハローキティ』のショーやアトラクション、パレード等が楽しめます。</p>	 <p><b>「ハローキティ」のデザインマンホール蓋</b> 東京都多摩市落合周辺 多摩センター駅の周辺に、『ハローキティ』のデザインマンホール蓋が設置されています。</p>	 <p><b>「あらいぐまラスカル」のデザインマンホール蓋</b> 東京都多摩市関戸周辺 聖蹟桜ヶ丘駅の周辺に、『あらいぐまラスカル』のデザインマンホール蓋が設置されています。</p>
 <p><b>『機動戦士ガンダム』に登場する「ガンダム」及び「ザク」のモニュメント</b> 東京都稲城市東長沼516-2 メカニックデザイナー・大河原邦男プロジェクトの一環で『RX-78-2ガンダム』、『MS-06S シャア専用ザク』のモニュメントが設置されています。</p>	 <p><b>『ヤッターマン』に登場する「ヤッターワン」のモニュメント</b> 南多摩駅北口駅前広場 メカニックデザイナー・大河原邦男プロジェクトの一環で『ヤッターマン』に登場する『ヤッターワン』のモニュメントが設置されています。</p>	<h1>TOKYO ANIMATION GUIDE</h1> <p>※掲載内容は2019年5月31日現在の情報となっております。</p>	